



花の会ニュース

2014年9月号
no.163

編集人/ 社会福祉法人 花の会 広報委員会 連絡先/ 〒569-1042 高槻市南平台 3-29-9
TEL 072-692-2859 FAX 072-693-3603

★WEB <http://www4.ocn.ne.jp/~hana-net/index.html> ★E-mail hana-net@minos.ocn.ne.jp

2015年 花の会オリジナルカレンダー ORIGINAL CALENDAR



今年もメンバーの描いた作品でオリジナルカレンダーを作成しました。昨年度より書き込めるスペースが多くなり、より使いやすくなりました。

ぜひ、この機会にご購入いただき、メンバーの想いを共有できたらと思います。

なお、収益金につきましてはメンバーの給料として活用させていただきます。

＜価格＞1部 1,000円(税込み)

送料(市外)／応相談

＜サイズ＞B3(見開き)

申し込み先: 共働舎花の会(担当: 渡邊)

TEL: 072-692-2859

FAX: 072-693-3603



		2015 (平成27年)				
		12月 December				
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

釜石小学校の校歌

先ずは、その校歌の歌詞を紹介する。

いきいき生き生き いきいき生き生き / ひらひら立
てまつすへ生るる / 圓ったまは 目をあけて / 星
を回らして まつる生るる / 星あふくまに いき
き生るる

はつきり話す はつきり話す / ひんひんせうはつ
きり話す / 圓ったまは あわてふ / 入園して
てよく考えも / 考えなむら はつきり話す

しっかりつかぬ しっかりつかぬ / きのこの知恵を
しっかりつかぬ / 圓ったまは 手を出して / とま
ちの手を しっかりつかぬ / 手と手をつないでし
かり生るる

何処かで紹介したいと抱えていた。受け売りで
す。「ゆめ風基金」広報誌の「ゆめごよみ 風だ
より」の巻頭の巻頭に代表理事の牧ロニーさんが
以下の紹介をされていた。まず、東日本大震災の
とき「釜石の奇跡」として語られた、釜石小学校
の全校生184人バラバラで遊んでいたにもか
かわらず全員が避難できた話を紹介された後、東
京でのイベントで、小室等さんとこむろゆいさん
がこれを歌われたこと。

作詞は井上ひさし、作曲は宇野誠一郎。井上さ
んが校歌を依頼されたとき、一字一句変更しない
約束でこの校歌を作ったということ。この話も重
いが、牧口さんは「とくに今の世相の日本の隅々
に伝わり広がってほしい・・・と願わずにはい
られない」と締めくくっている。ほんとに、感動
と力が湧く歌だと思う。

メンバーも復興カンパに、今も取り組んでい
る。彼・彼女らに伝えてみたい、と思う。

(やまだのかかし)

2000年12月12日第三種郵便物認可 毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行
発行人 関西障害者定期刊行物協会 大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4階 定価1000円



花の会「成年後見制度利用検討委員会」から 「親族後見に向けて」

「成年後見制度利用検討委員会」を立ち上げ、誰でも参加していただける学習会などを毎年開催してきました。今年度のテーマは「親族後見」です。当委員会では、介護保険と障がい福祉サービスの併用や、終の棲家・・・の話を含め、メンバーの生活をどう守るのかについての議論を重ねてきました。メンバーを身近な立場で、接しているのはご家族の方です。親が後見人として関わっていただくことで、親亡き後、困らないような道筋をどう作るかの話をしていきたいと思っています。

現実を見ると、様々な契約、銀行や郵便局での手続き等、本人でないと出来ないことが増えてきています。本人が出来ない場合、代理で行う必要がありますが、本来は「親・きょうだい」というだけでは、代理は認められません。後見人の出番です。第三者後見（社会福祉士、司法書士、弁護士、NPO法人など）を利用すると、その人の財産によって費用がかかります。しかし親族後見な

ら、親族が請求しない限り費用は発生しません。親・きょうだいの立場を取りながら、後見人としてメンバーを支え、やがては親から次の方へスムーズに後見のリレーが行われるように・・・と考えています。「親族後見」を1つの選択肢として考えていくことで、この親亡き後の問題の一角を考えていくきっかけにしていきたいと委員会では考えています。

今年はまず会内学習会を計画中です。成年後見制度は、親やきょうだいがいれば必要がないと言われる方はまだ多数おられます。この制度はまだまだ完璧なものではないと思いますが、将来を支える可能性の制度の1つとして考え、検討していかないと他のことも分からないのではないのでしょうか。多くの人を巻き込んで考えていけるように今後も様々な情報を発信していきます。ぜひ関心を寄せていただければ・・・。

(成年後見制度検討委員 平田昌史)

花の会の画伯たちの作品が 皆様のお越しをお待ちしています！



「第6回花の会作品展」の作品募集を7月27日スタートさせた。

今年で6回目を迎える「花の会作品展」。寄せられた作品を展示する場所も、施設・銀行等の無料ギャラリー・・・そして、ここ2回はJR前アクトアモーレ内大垣書店横の通路で開催するようになった。今まで関係者しか見に来なかった展示会も市の中心部ということもあり、多くの市民の方に見ていただけるようになった。

毎年、個性的な絵画、書道、写真、造形物・・・が寄せられる作品展。出展数は前回で150点を超えた。あまりに多かったため、全ての作品が展

示できなかつたほど。メンバーの個性がそのままストレートに紙に、画像に、粘土に・・・表現されている。どの作品も甲乙つけがたいが、審査員の方に見ていただき表彰も行っている。それを励みに作品を作られる方も多い。今年の作品展は年度をまたぎ2015年の春を予定している。その一足前の12月に高槻市民ギャラリーの「えきちかギャラリー」にて、主にクラブ活動での作品を展示する予定。高槻市広報や、事業所の通信等でも、開催時期が知らされるので、ぜひご記憶のほどを！

第43回 花の会バザーのご案内

バザーも今回で43回目を迎え、回を追う毎にたくさんの方々に参加いただき盛り上がっています。是非、お越し下さいますようお願いいたします。



日時 2014年11月16日(日)
9:30 ~ 14:00
場所 共働舎花の会敷地内

用品をご提供下さい

ご家庭で不要な日用品雑貨や衣類などありましたらご提供下さい。取りに伺いますので電話お待ちしております。

家族会

高槻まつり不参加となった今

年々、世界中の気候がおかしくなっており、日本の夏も今年は大変でした。台風やゲリラ雨などで、8月2・3日の高槻まつりも、雨の中楽しさ半分ではなかったでしょうか。ここ何十年(?)と家族会で頑張ってきた高槻まつりでしたが、ここにきていきなりのキャンセル！

少し粘ってはみましたが、やはり出店は叶いませ

んでした。高槻まつりは家族会としての、大きなイベントです。これに変わるものを探るか？それとも、全く別の物を考えるか？これを機に、会員の皆様ももう少し楽しく参加し、コミュニケーションをとれるようなことを考えなければと、思っております。

(家族会会長 阿部陽子)

後援会

映画上映会のご案内

来年3月3日「世界一すてきな僕たち私たちへ」のドキュメンタリーの上映会を開催します。

この映画は、東京の下町、江東区にある障害児の放課後施設・こびあクラブに通う小学校1年生から高校3年生までの自閉症や知的障害を持った子どもたちの日常の活動を3年間に亘って撮った記録です。成人の障害者を、支援したり家族に持つ方々には、もう関係が無いと思われるかもしれませんが、花の会施設の成人の生活介護の場に置き換えても、障害者の本態を理解し、支援に役立つヒントを見出すことができよう。

最近の世間の動きはなにか不穏で、とげとげしくなっている感じがしています。ヘイトスピーチ等、弱者を思いやったり、立場や考え方の違いを認める余裕が失われつつあるのではないのでしょうか。

この映画を見終わったら、何よりもみなさんの心の中がやさしい気持ちに溢れ、温かい想いで満たされることでしょう。ご期待くださいますよう。

(後援会 白石朝子)



みんなの会のことについて



「みんなの会」の代表の篠原芽久美です。「みんなの会」は花の会の当事者活動の名前です。月に1回各事業所の代表と各班のリーダーが集まってリーダー会議をしています。この会議はどちらかというとワーカーが話をする時間が長かったのですが、できるだけ自分たちの力をあわせて、リーダー会議を代表、リーダーで進められるようにしていきたいと思っています。今、ワーカーの人とどのように会議を進めるのか一緒に考えています。

ワーカーが進めるのではなく、メンバーが話をすすめて、メンバー一人ひとりに意見を聞いていくので、少し会議に時間がかかるようになりましたが、時間をかけた分だけ色々な意見がでるようになってきました。リーダー会議だけでなく、メン

バーみんなが自分たちの思いをだせるような「みんなの会」にしていきたいです。

7月と8月のピープルファースト大阪全体会議に参加してきました。色々な事業所から自分たちの思いを発表していて、とても勉強になりました。特に印象に残ったのは千葉県でおきた虐待事件のことで、私は事件のことを知らなかったのですが、話を聞いてすごく悲しい気持ちになりました。花の会からピープルファースト全体会議に参加するメンバーが少なかったため、もっと参加して自分たちの思いを、大阪の仲間に話をしたいとおもいました。みんなでピープルファーストの会議に参加しましょう。

(みんなの会代表 篠原芽久美)



日中活動支援

さて、これからどうなる？ どうしよう！

共働舎・第2共働舎・第4共働舎、それぞれにメンバー数が定員を上回り、次年度に向けて受け入れの検討を始めています。また、利用希望の方々へも、見学・実習・説明会が実施されています。

近年、10名単位の希望（支援学校から）を受け取る事が多く、正直、ワクワク・ドキドキ・・・しながら状況を見守っています。

みなさん事業所での実習を終え、いよいよ進路決定をされていくようです。

日中活動では、今年度内部での事業所間での異動を行いました。次年度においても、現状の3事業所の体系は維持しながら、受入れを考えていく予定です。「新たな展開（活動の場）が必要な時期です」と、ここ数年言っていますが、明確に提示できるところまでは話が詰まっています・・・でも・・・いよいよお尻に火がついてきています。

※ 現在、希望者のニーズを勘案すべく、再度、第2共働舎の多機能型（生活介護・就労継続B）から生活介護1本への事業変更を申し入れているところです。（島村）

この時期、実習生がいっぱい～右欄→は、

その様子を少し紹介します！

例年、8月になると夏休みの時期に合わせて、支援学校の高等部3年生の方たちが進路選択実習で花の会に来られます。今年も8月下旬に支援学校から2日間ずつの実習に取り組みました。普段と違う環境に最初は戸惑う人、はじめての場所でもマイペースで過ごせる人など個性豊かなみなさんでした。

なかなか事業所の中に入れなかった人も時間が経つにつれて場の雰囲気にも慣れて作業に取り組む姿が見られました。水耕栽培や軽作業、リサイクル用品の値付け、チラシ配りなど、学校では経験できない作業、普段とは違うお昼の給食はおいしかったでしょうか？

花の会のメンバーも先輩として頑張りの見せどころ！いつもより張り切って仕事のできたのではないのでしょうか。2日間の実習が終わり、付き添いの先生から活動の様子を聞かれた親御さんもホットされていました。最近では2年生の時にも実習体験に参加する方も増えてきています。

花の会の新しい仲間となるかはまだわかりませんが、貴重な経験となったでしょうか。（牛嵐）

第14回 花の会夏まつりを開催しました！

7月12日（土）夕方5時から南平台の敷地内で、第14回花の会夏祭りを開催いたしました。天気に恵まれ、3時間の短い開催時間でしたが、たくさんの地域の方やメンバーが来場してくださいました。

今回は多くの方が来場しやすいように、送迎バスをJR撰津富田からピストン運行しました。イベントもいろいろな方々に参加していただきました。前半は子供も楽しめる家族タイム。オープニングは花の会の家族会が集結した「HKU64」のキレイのダンスから始まり、身体に響き渡る「芥川高校の和太鼓部」の演奏、ちびっこが目を輝かせていた「風船のれ～ちゃんとさっちゃん」のバルーンアート、イベントの司会も担ってくださった「交遊亭楽笑氏」の漫談と南京玉簾といった盛りだくさんの出し物でした。後半はこの日の為に結成された「ポップ～ず」が大人ムードで昭和歌謡のジャズを披露してくださいました。夏祭りに賛同してくださった「モザイク」のカクテルやキンキンに冷えた生ビールを出すオシャレ空間も作りました。焼きそばなど模擬店で汗をかきながら販売していた職員や、ハンドマイクを持ちながら走っていた職員。夏祭りのために用意

したおそろいのTシャツを着て、みんな笑顔でがんばりました。

「花の会夏祭り」はたくさんの人に花の会に遊びに来てもらい、地域の方々に「花の会」を知ってもらおうと始めた行事です。昨年からは原点を見つめ直し、地域の方と交流ができる行事へと取り組んできました。花の会の思いに賛同いただいた方々から、たくさん協力金やお米や豚肉等の協賛も頂戴しました。心より感謝いたします。この取り組みを継続し、地域に愛され、共存できる花の会にしていきたいと思いました。

（チューリップ 前田恵津子）



うの花療育園夏まつり



7月26日(土)に市立うの花療育園夏まつりにて、1E班のメンバー1名とワーカー2名で授産品の販売を行いました。開始と同時に太鼓の音が鳴り響き、子どもたちの笑い声が、とても賑やかなお祭りでした。暑い日でしたがたくさんの方が来られ、販

売時間は16時から18時までの2時間程でしたが、ゼリー・漬物・ジャム・さわり・パンなどをたくさん買っていただきました。お客さんの中に「花の会のクッキーが好きなんです!」「このクッキー美味しいよね!」と喜んでくださる方がおられ、とても嬉しい気持ちになりました。そのように喜んでくださる方が少しでも増えるように、これからもみんなで頑張っていきましょう(^_^)今年はまだ班でお祭りに行けていなかったもので、楽しいお祭りの雰囲気を楽しむことができて良かったです。(共働舎花の会 多賀純菜)



芥川商店街夜市



7月26日(土)、芥川商店街で夜市がありました。毎年、チューリップとこすもす、花の会が参加しており、チューリップは恒例のフランクフルトと共働舎で作ったゼリーの販売。こすもすは去年からキラキラ玩具(光るおもちゃ。祭りの定番)のスピードくじと、ぶよぶよボールすくい(初)に挑戦。花の会はイカ焼きの販売となりました。

祭りの方は18時開始でしたが、17時過ぎ頃から浴衣や甚平を着た子どもたちや、その家族で、にぎやかになってきたので、少し早めに販売を開始することになりました。祭りのピークは20時

前後。どの店も目が回るような忙しさで、来られたメンバー、家族の方にも助けられ、なんとか乗り切ることができました。結果、用意していたフランクフルト400本、ゼリー100個、イカ焼き150枚、スピードくじ200回・すべて終了という結果になりました。

価格を抑えて販売していたので、正直利益はさほどないですが、地域の祭りに参加し、花の会のこと、芥川商店街にリサイクルショップがあることを知ってもらう良い機会になったと思います。(第4共働舎:明石みちよ)

みんな大好き フールレクリエーション



7月12日(火)高槻市立市民プール(芝生)でふれあいプールレクリエーションが開催され、花の会からはメンバー31名、ワーカー10名が参加しました。初めて参加するメンバーもあり、とても楽しみにしている様子でした。プールに入るとリズム体操『アクアピクス』や『水中ウォーキング』などが企画されており、音楽にあわせて、リズムよく踊ったり、歩いたりしました。プールサイドでのインストラクターの方の見本を見ながらそれぞれに笑顔で水中ダンスにウォーキング!とっても良い運動になりました。後半の自由時間では、水中にあるボールや貝を夢中で集めたり、ボランティアの皆さんと一緒に泳いだりして楽しみました。普段、手をつなぐ事が嫌なメンバーが水中では自分からワーカーやボランティアの方の手を離さず、握りしめているそんな初々し

い場面も見られました。最後は七夕飾り(スタッフの皆さんが用意して下さいました。)の前で記念撮影。暑い日が続きますが、一時の涼しく気持ちの良い時間を過ごすことができました。来年もぜひ参加してみたいです。

(第2共働舎 菊地宏周)





～第26回全国グループホーム等研修会 近畿地区大会 (KOBE) 報告～

7月24日(木)、25日(金)、神戸において、全国グループホーム等研修会が開催され、グループホーム職員6名が参加しました。

2014年度からグループホーム・ケアホームが一元化される中、障がい者の地域生活がどのように進んでいくのかなどを考えるとということで、今回の大会のテーマ「地域の中で安心できる住まい、暮らしを創造していく」のもと、1日目は、全体会として、行政説明や基調講演、座談会、2日目は、5つの分科会に分かれ、各議題について、事業所の取組みの発表が行われました。

1日目の全体会では、開会式に続き、厚生労働省の菊地芳久氏より一元化等、グループホームの制度改正の概要と平成27年4月より改正され、さらに規制の厳しくなる消防法施行令等についての説明があり、仕組みや設置基準、基本報酬、加算等など、改正された制度の内容について確認しました。

続いて、北京・ロンドンパラリンピック女子競泳日本代表の野村真波氏の基調講演「あきらめない心」では、交通事故で片手を失いながらも、夢だった看護師になることをあきらめることなく、リハビリに通っていた水泳でもさらなる高みを目指して、パラリンピック参加を実現したそのお話しに、皆さん真剣に聞き入っておられました。

1日目の最後は、「終の住まいとしてのグループホームをどう考えるか」ということで、座談会

フラワーホーム 東 秀樹がありました。終の住まいかどうかは、本人の生きざまに合わせるべきで、グループホームは、その選択肢の一つ。また、今後高齢化とともに介護の面での支援が必要となると、さらに人員不足が見込まれ、報酬単価の増加が望まれるといったお話がありました。

2日目は、「建築基準法・消防法等の課題」、「GHの高齢化対策と今後の対応を共に考える」、「グループホームにおけるホームヘルプサービス等の活用」、「グループホームの事業展開について」、「生活支援員・世話人さんの思いをぶつけよう」の5つの分科会が開催されました。分科会「グループホームの事業展開について」では、入所施設から初めて、グループホームや、地域を包括・支援するセンターを立ち上げてきた経緯等のお話がありましたが、どの事業所の方も仰っていたのは、本人の望む暮らし、「彼らの願いを実現すること」を忘れないということでした。

今回の研修会では、障がい者福祉、建築、消防法施行令の改正への対応や、高齢化など事業所としての大きな課題もありますが、本人の思いを大切にしながら、制度によらず、取り組みをしている事業所の発表が印象深く、パラリンピックの日本代表選手の講演にも励まされ、とても意義深い研修会参加となりました。

充実した生活のために～余暇活動紹介～

フラワーホームでは、週半ばの休日はホームでの余暇活動として、皆で外出したり、ホームの中でお菓子やご飯を作ってみたりと色々な取り組みをしています。ここ数年は、カレンダーのめぐりからか、週半ばの休日が年に5日ほどしかありませんので、余暇活動として遊びに行く事が少なく、その分ホームの活動が楽しみな様子で、余暇活動の月が近づくと「どこ行くの～?」「何するの～?」とメンバーから先にどうするかのお問いかけがあります。

余暇活動の内容は、1か月前位からどこに行きたいか、何をしたいか、ホーム会議などで話し合い、メンバーが決め、世話人が調整を行います。

ホーム全体で出かけた人、個人で出かけた人、他のホームと合同で出かけた人、ホームで出かけたけれど行きたい場所ややりたい事はバラバラ・・・など色々な意見をまとめるのは一苦労ですが、話し合いを行っているうちに、普段の休日に行った事のない場所や興味のなかった場所でもホームの仲間に出かけるなら行ってみようかという思いが芽生えてくる事もあります。知らない場所に行って経験する事ができる事もホームの余暇活動の楽しみの一つではないかと思えます。

今年度は4月29日に余暇活動がありましたが、あいにくの雨・・・。折角決めた行き先を変更せ

ざるを得えなくなり、室内で遊べる場所に変えたホームも少なくありませんでした。雨の中でも活動的にバスを乗り継ぎ、2ホーム合同で森林観光センターまでパーベキューに出かけたホームもありました。雨の中、大人数でのパーベキューも楽しい思い出のひとつになったのではないのでしょうか。

数年前の話になりますが、ホーム全体でパーベキューをしたり、女性ホーム合同で温泉に行った事があり、メンバーから「また皆で出かけた」という意見もあります。就労されている方が参加しにくい事や数年前にくらべてホームの数も増えているので、メンバーと職員合わせて114名の大人数でどこに行こう・・・という問題もあり無

謀な考えかな・・・とも思いますが、数年に一度くらいはそういう取り組みをしてみたいですね！

9月23日に2回目の余暇活動があります。また皆の楽しい笑顔ががじゅまる通信でご紹介できればと思います。

(フラワーホーム 南部由起子)



芝生住宅夏まつりに模擬店を出店しました

8月3日、今年も芝生住宅夏まつりに参加しました！

芝生住宅の夏まつりに、昨年からグループホーム「くるみ」「すばる」が中心になり模擬店参加しています。8月2日が予定日でしたが、今年はあいにくの雨で一日延期されて、それでも雨が降り続く中、何とか開催されました。毎年、高槻祭りと同日に開催されるので、客足が心配されるのですが、雨の中傘をさして来店される方も多く、おもちゃのくじ引きのお店は賑わいを見せていました。「雨の中でこそ地域の方と連帯感が生まれるのだ！」と変な納得をしている世話人でした。来年

度も楽しく参加したいと思っております。

(すばる世話人 大塚 修)



友花会活動ってなあに？

「友花会」は元花の会メンバーのO・B会として、当事者活動をする目的で、1990年に発足しました。現在会員数22名と共に毎月の定例行事や毎年1回の一泊研修旅行など、主に就労されているメンバーや、花の会より他施設に行かれた方々を中心に活動しています。

普段はそれぞれ別々の職場で働いていたり、ホームで生活されているメンバー達が集い、共に活動する事により連帯感が生まれ、お互いの悩みを相談したり、余暇活動を楽しめる場として、毎回楽しみにしておられます。今年も9月14日から「ワールド牧場」のヴィレッジに一泊研修旅行の予定で、皆さんウキウキ気分！

近頃は、ご家族の高齢化なども進み、独居されているメンバーも少数ながらおられます。単に親睦だけではなく、生活面やメンタル面の支援も必要になってきています。

今後も1人1人が楽しめ、心の拠り所となるような友花会を目指して、会員、スタッフ共に協力し活動を進めていきたいと思っています。

(友花会 陰地 佐知子)





第16回 全国就業支援ネットワーク 定例会・研修会に参加

高槻市障がい者就業・生活支援センター 宮崎 佳子

この夏の7月19日(土)、20日(日)の二日間、滋賀県大津市のピアザ淡海大ホール及びコラボしが21で行われた第16回全国就業支援ネットワーク定例研究・研修会に参加しました。例年、全国各地で行われるこの定例会ですが、今年は大阪近郊ということもあり、当法人から、7名参加と、同一法人からの参加者としては最多でした。この定例会は、遠方で行われる場合、宿泊費を伴うので参加できる人数に限りがありますが、今回は両日帰りということで、異例の参加人数となりました。

滋賀県には、知的障がいのある子供たちの福祉と教育に生涯を捧げた糸賀一雄氏(1914~1967)が残した精神が息づいており、今年には糸賀氏生誕100周年という記念すべき年として、この地で定例会を開催するにあたり、嘉田由紀子滋賀県知事が挨拶をされました。嘉田知事はこの日が任期最後の日ということで、最後の仕事として全国就業支援ネットワーク定例会の開催挨拶をすることに感慨深いものがあると述べておられました。

「社会福祉の父」と呼ばれた糸賀氏の精神を受け継ぐ滋賀県は、我々が将来目指すべき姿として「『障害者や作業所』という概念が無くなること」であると宣言しています。それは、我々のような支援をする仕事そのものが無くなるのが理想ということです。この理想を実現すべく、県内には7つの障害者就業・生活支援センターを滋賀県社会就労事業振興センターが事務局として統括、運営しており、就業・生活支援センターを「働き暮らし応援センター」という独自の名称で呼んでいます。この名称には親しみやすさがあり、当事者に対する敬意と思いやりを感じました。

一日目の内容は、①『誇りを持って、毎日働いています』就労中の当事者(知的障がい)と支援者の発表②『滋賀県ならではの』が目指したこと、目指すこと』滋賀県障害福祉課、社会就労事業振興センター等スタッフによるパネルディスカッション③分科会「4つの分科会に分かれて」(会場：コラボしが21)④分科会まとめ「分科会から見てきたこと 地域で働く」各分科会からの報告とパネルディスカッション⑤『糸賀一雄、池田太郎、田村一二、三先人が伝えたかったこと～働く視点～』(株)なんてん共働サービス 溝口弘氏

二日目は、①各部会別グループ討議(会場：コラボしが21)成瀬所長は就労移行支援事業部会、他のスタッフは就業・生活支援センター部会に参加。都道府県別のグループに分かれ討議。②部会別報告

の総括 ③『誰もが働くことがしあわせに繋がる社会を目指して』全国就業支援ネットワーク代表理事 高井敏子氏 『障害者雇用の現状と障害者就業・生活支援センターの取組み』厚生労働省障害者雇用対策課 岩崎法彦氏、『障害福祉施作の動向』厚生労働省障害福祉課 平川雅浩氏 ④③の発表後に質疑応答…全国就労ネットワーク事務局長 關宏之氏、同代表理事 高井敏子氏⑤閉会。その後「全国就業支援ネットワーク総会」で全プログラムが終了しました。この研究・研修会は日本全国から就労支援者が集い、様々な角度から情報・意見交換ができる場であり、日ごろは各都道府県でバラバラに活動している我々が、あらためて初心と指針を確認する場でもあると感じました。そして、糸賀氏の言葉を胸に、この研修会で得たことを活かして働きたいと思えます。

「この子らはどんな重い障がいをもっていても、だれと取り替えることもできない個性的な自己実現をしているものである。人間と生まれて、その人なりに人間となっていくのである。その自己実現こそが創造であり、生産である。私たちの願いは、重症な障がいをもったこの子たちも立派な生産者であるということ、認め合える社会をつくろうということである。『この子らに世の光を』あててやろうという哀れみの政策を求めているのではなく、この子らが自ら輝く素材そのものであるから、いよいよ磨きをかけて輝かそうなのである。『この子らを世の光に』である。(「糸賀一雄著作集Ⅲ」より)



～働きたい・雇いたいを応援する～

高槻市障がい者就業・生活支援センター

就業・生活支援センター(愛称:就パツ)は所長、支援員8名の計9名のメンバーが所属しています。チームワークを大事に、本人さんや企業のつなぎ役として、日夜奮闘しております。何かありましたら、お気軽にご連絡ください。



成瀬 倫

通園は7カ月に1回のこと
多いので、髪をのびるまで
なくならなかったのび5月から
トリートメントはじめてました。
ゆず髪をめがけます!



陸野 翠

楽しく、質の高い支援
をしていただきます。



内山田 志明

ゆくりでも、日々
前進していきたい。



マイペースで
がんばります!
岡田 秀夫



高槻市の仕事は、
楽しい(笑)
苦しい(苦)
美しい(美)
3つあって
幸せな仕事!

ん～おなかすいたなあ
むいあ.. あんまりここに
おいしそうものを食べて
人がいる...!!
おいしいものを食べて、笑って。
寝る! せんは 宮崎 佳子
おやすみ!



はいめんど、田中 保子(保子)さん。
会話が、おもしろいから
おもしろいから、おもしろいから
おもしろいから、おもしろいから
おもしろいから、おもしろいから
よろしくお願ひします。



戎野 亜由美
いつも笑顔!!を心がけて
が、最近仕事が忙し
ように.....どうしゆふ。



神村 優佳
3度の飯より可愛い話が
大好きです!
京カポットの堂光 灯がチカチカ
するの、私のせい(笑)

知的ガイドヘルパー養成研修を終えて

2014年7月から高槻市でも遂にホームヘルパー2級課程修了者も知的障がい児・者の移動支援を行えるようになりました。その他、介護福祉士、保健師、看護師、介護職員及び居宅介護初任者研修修了者、ホームヘルパー1級課程修了者は全身性の移動支援が行えるようになりました。

そんな中、8月26日(火)に知的障がい者ガイドヘルパー養成研修を開講しました。高校生や今まで全く知的障がい者と関わったことのない方から、事業所で支援者として関わられている18名が申し込まれました。その内2名がご家庭の事情等により不参加となり9月11日(木)に16名が修了されました。今回も実習のお手伝いをしていただいた共働舎、第2共働舎のメンバーたち、ご協力ありがとうございました。

8月26日(火)、29日(金)に講義を行っていただいたのは、法人の第三者委員でもあり、人間科学大学の鶴野教授。であい共生舎の理事長であり、理事でもある津田さん。北摂杉の子会レジデンスなさはらの平野さん。大阪障害者自立生活協会(通称:障大連)の細井さん。大阪市にある路交館の山本さん。講師陣はガイドヘルパーに拘らず、他法人、他機関から多種多様で豪華なラインナップで受講生からは「講演会があれば是非参加したいので情報があれば教えてください」とうれしい言葉を頂きました。9月1日(月)から始まったコミュニケーション

実習ではコミュニケーションの困難さ、伝わった時の喜びを感じていただけ、最後の外出実習では2名の受講生が1名のメンバーと実践さながらのガイドを行い、メンバーの笑みに充実感を得られていたように感じました。

期間としては3週間程ですが、その内4回の受講で移動支援従業者の資格が得られます。ガイドヘルパー養成研修が終了したところではありますが、すでに次回の研修日程の問合せがあります。次回は2015年2月頃に開講予定ですので今回受講できなかった方は是非ご参加ください。花の会のホームページやはいびすかすのtwitterでの告知、第4共働舎の各店舗にて申込用紙の配布を予定しております。

サポートセンターはいびすかすではメンバーの外出を支援するガイドヘルパー、通院や身体介護を行うホームヘルパーを時給1,300円以上で老若男女問わず大募集しております。忙しくて長時間の勤務は難しい方には30分程度の支援もあります。資格はあるけれど今まで全く活動していなかった方には慣れたヘルパーが同行します。月1回でも構いません。皆さんの活躍がメンバーの笑顔を増やしてくれます。資格をお持ちの方は是非ご登録お願い致します。(はいびすかす:徳野裕季)





寄贈とお便りの紹介

★造形物と絵画の寄贈

笹井宏元評議員様より、3月12日に作品を寄贈いただきました。共働舎花の会の玄関とホールに設置いたしました。是非、ご鑑賞下さい。アートのお贈り物ありがとうございました。

- ・ 造形物『ポーズ』(高さ約85cm) 1点



- ・ 絵画『山吹とライラック』(h69*w62cm) 1点



★覚えているかな。大里さんからお便りが。

5月に22年前に福岡県に転居された大里聡さんとお母さんから、30周年のDVDのお礼と近況のお便りが届きました。昔と変わらない聡さんの笑顔です。今はグループホームで生活をされ、花の会の当時のことを良く覚えて

おられるそうです。曰く「特に文化住宅の頃の思いでは強く残ってる様で・・・当時の仲間だった方達、約十数名の名前を言っは雄弁になり顔は輝いておりました。」とのことでした。ありがとうございます。



『おからかりんとう』って？

就労継続支援B型の『ワークたんぼぼ』では、『おからかりんとう』を製造しています。

このおからかりんとうは、宮城県女川町が発祥の地です。阿部雄悦さんが開発されたお菓子です。「かりんとう」というと黒糖が一般的ですが、このおからかりんとうは、写真のような形状です。三温糖・おから・小麦をミックスしたものが生地になります。

阿部さんは、2011年3月11日に発生した東日本大震災による津波で、おからかりんとうの工場、自宅等全て流されてしまいました。親しくされていた方が住んでいる鳥取県伯耆町に避難され、それから数カ月後の7月には、新しい工場でおからかりんとうの製造を復活されました。

ワークたんぼぼでの製造がスタートしたのは、1年後の2012年7月からです。

かりんとうの生地は、阿部さんが運営されているNPO法人きらら女川の就労継続支援A型・B型事業所の『ひかり』で、製造されています。その生地を

仕入れて、ワークたんぼぼで揚げて、袋詰し販売しています。

おからかりんとうをご購入いただくことで、花の会、ひかりのメンバーの工賃、阿部さんの復興支援につながりますので、是非一度召し上がってください。

現在11種類のおからかりんとうを製造しています。お買い求めは、花の会の各事業所、または、ワークたんぼぼまでお電話いただければ、市内近隣は無料で配達します！

ご注文お待ちしております。

(ワークたんぼぼ 施設長 佐藤智昭)

九州
シンプル
やさしい
お菓子

国内産
小麦粉

おからかりんとう
お大豆おから使用

1袋 130g入り 350円(税込)

告知

助成金による事業完了のご報告

ここに事業実施のご報告をいたしますとともに、ご協力いただいた関係者の皆様に、謹んで感謝の意を表します。

大阪府共同募金会に公益信託近藤きよ子記念福祉基金助成金事業の申請をし、カラー印刷機整備事業助成金として補助をいただきました。



	記
1. 事業名	カラー印刷機整備事業
2. 購入印刷機	RISO ORPHIS EX7200
3. 事業費総額	2,752,272円
4. 助成金額	2,000,000円
5. 完了年月日	2014年6月19日

昨年度、日本財団の福祉車両事業「送迎車の整備」の助成金申請を行い、事業を実施いたしました。現在、メンバーの送迎や生産活動等で毎日活用させていただいています。



	記
1. 事業名	送迎車の整備
2. 整備車輛	ホンダ ステップワゴン
3. 事業費総額	1,629,000円
4. 助成金額	1,300,000円
5. 完了年月日	2014年3月7日

～法人初任者研修報告～

2014年6月28日(土)に新入職員研修を行いました。

昨年の6月以降に採用された22名の職員が参加し、丸一日、研修を受けました。

今年度は研修内容を一新して、人権について学びながら、花の会の成り立ちを理解できるようなカリキュラムにしました。具体的には、①人権研修、②しょうがいしゃ運動、③各種支援制度、④法人の理念と方針、⑤しょうがいについて、⑥社会人として、の6科目を設定しました。

参加者の意見を一部だけですが紹介します。

・身の回りに色々な差別があったり、自分が気づかない内に人権を侵害してしまっているかもしれないことに気づけた

・報連相がとても重要であることを再認識した

・支援をしているつもりで支配していないか気づかされた

・自責の考えがあってこそ建設的に物事を考えることができるかと理論的に教えて頂いたのは大きな気づきです

・「尊厳」この言葉の意味・奥深さにとても共感しました

・メンバーを深く知り感じ取れる支援をしていきたい
・善意の押し売りになっていないか気をつけたいと思った

・相手を大事にするために、自分にも余裕をもったり大事にしないといけないと思った

この1日の研修で、すべてを身につけられるわけではありません。日々の支援について、いかに真剣に向き合って取り組み、自ら学んでいくかという姿勢が大切です。将来の花の会を担う人材として期待しています！

(就労相談事業部 隆祐 成瀬修)



活動報告

	花の会		法人		日中活動		地域生活		就労・相談	
6	7(土)	第31回花の会 総会・交流会	6(金)	事務局会議	3(火)	避難訓練	7(土)	第31回花の会 総会・交流会	5(木)	あんしんネットあゆむ
	10(火)	成年後見制度WG	7(土)	第31回花の会 総会・交流会	4(水)	メンバー給料日	8(日)	友花会活動(大阪下水 道科学館見学)	7(土)	第31回花の会 総会・交流会
	23(月)	成年後見制度WG	28(土)	法人新入職員研修	7(土)	第31回花の会 総会・交流会	21(土)	職員意見交換会	13(金)	高槻市集団指導
	24(火)	ホーム運営懇話会			13(金)	メンバーボーナス支給日	22(日)	友花会ボート大会	19(木)	就労ネット
	26(木)	成年後見制度 利用検討委員会			17(火)	健康診断	26(木)	障大連GH部会	23(月)	あんしんネットあゆむ
		21(土)			職員意見交換会			26(木)	グッド・ケアプロジェクト	
7	8(火)	役員会	4(金)	事務局会議	5(土)	メンバー給料日	12(土)	花の会夏祭り	10(木)	三島ブロック進路会議
	25(金)	将来構想WG			12(土)	第14回花の会夏祭り	13(日)	友花会活動(須磨)	17(木)	就労ネット
	27(日)	第145回定例会			15(火)	ふれあいプールレク レーション	16(水)	障大連GH部会	18(金)	就労初任者研修
					23・25	歯科検診	24・25	全国GH等研修会	19-20	全国就労支援ネット定例 会@大津市
							26(土)	友花会カラオケ大会	23(水)	グッド・ケアプロジェクト 事業所連絡会定例会
8	5(火)	将来構想検討委員会	1(金)	事務局会議	5(火)	メンバー給料日	3(日)	芝生住宅夏祭り	13-15	夏休み
	7(木)	成年後見制度WG			13~17	夏休み	5(火)	障大連対府交渉	21(木)	就労ネット
	19(火)	成年後見制度 利用検討委員会					6(水)	事業所連絡会GH部会 ワークホーム定例会	26~	ガイドヘルパー研修
	22(金)	日中活動運営懇話会					13~17	夏休み	28(木)	グッド・ケアプロジェクト 事業所連絡会役員会
	26(火)	ホーム運営懇話会					30・31	柱本住宅夏祭り		

活動予定

	花の会		法人		日中活動		地域生活		就労・相談			
9	1(月)	成年後見制度WG	5(金)	事務局会議	2(火)	避難訓練	14・15	友花会研修旅行	4(木)	事業所説明会@共働 舎花の会		
	2(火)	将来構想検討委員会			5(金)	メンバー給与日	18(木)	障大連世話人研修会		就労問題懇談会		
	9(火)	役員会			11~12	一泊研修旅行 名古屋 三重	28(日)	友花会活動	18(木)	就労ネット		
	21(日)	第146回定例会 成年後見制度学習会			18~19 25~26	和歌山① 鳥取 和歌山②			25(木)	相談支援部会		
10	15(水)	成年後見制度学習会	3(金)	事務局会議	3(金)	メンバー給与日	1(水)	事業所連絡会GH部会	9(木)	内部研修		
	20(月)	成年後見制度WG	11(土)	就職説明会	5(日)	市民ふれあい運動会	5(日)	市民ふれあい運動会	16(木)	就労ネット		
	21(火)	成年後見制度 利用検討委員会	18(土)	中間総括会議	6(月)	代休	16(木)	障大連世話人研修会	18(土)	中間総括会議		
	23(木)	日中活動運営懇話会			18(土)	中間総括会議	18(土)	中間総括会議	23(木)	相談支援部会		
11	16(日)	第43回 花の会バザー	7(金)	事務局会議 理事会・評議員会 (未定)	5(水)	メンバー給与日	16(日)	第43回 花の会バザー	13(木)	内部研修		
	18(火)	将来構想検討委員会			16(日)	第43回花の会バザー	17(月)	代休	下旬	ホーム定例会	20(木)	就労ネット
					29~30	福祉展					27(木)	相談支援部会
12	1(月)	役員会	5(金)	事務局会議	5(金)	メンバー給与日	23(日)	ホーム余暇活動	11(木)	内部研修		
	7(日)	第147回定例会			15(月)	メンバーボーナス支給日	28~	冬休み(1月4日まで)	13(土)	全国就労支援ネットワーク 就労移行支援事業所 研修会		
					27(土)	大掃除・忘年会			18(木)	就労ネット		
				28~1/4	冬休み			25(木)	相談支援部会			

編集後記

今年、花の会では大々的に夏祭りを開催し、大勢の方にお越しいただきました。皆さんの楽しそうな笑顔を沢山見られた事で、地域の方との交流の大切さを実感しました。これから秋のバザーに向けての準備に入ります。物品提供のお電話で「いつも楽しみにしていますよ」というお声を掛けていただく事がありますが、そんな言葉を沢山いただけるようなバザーになればと思っています。(共働舎 富田真由美)